

2020 年度事業報告について

自 2020 年 4 月 1 日

至 2021 年 3 月 31 日

I. 2020 年度活動総括

2020 年度は新型コロナウイルス対応に追われた 1 年となった。4 月に入ると新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から緊急事態宣言が発出された。3 月からの学校の一斉休校は6月まで続いた。緊急事態宣言による経済活動の停止の影響は大きく、4-6 月期の GDP 成長率は戦後最悪の落ち込みであった。経済活動は再開し、Go To キャンペーンなど政策面での後押しもあるが、1 月には再び一部地域に緊急事態宣言が発出され、日本経済の先行きには不透明感が漂っている。

ショッピングセンターは、感染拡大を抑えるために 3 月下旬から緊急事態宣言が解除される 5 月まで、休業等の営業制限をせざるを得なかったが、SC 内にあるスーパーマーケットやドラッグストア等は営業を続け地域のライフラインを支えた。緊急事態宣言解除後には、マスクの着用や消毒液の設置、ソーシャルディスタンスの確保などの感染防止策を講じつつ営業を続けている。2020 年の既存 SC の売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響で年間を通じて来館者数が大幅に減少したことが響いて、前年比▲22.3%と大幅に前年を下回った。

協会活動においても、新型コロナウイルスにより多くの事業に影響を受けた。特に、接客ロールプレイングコンテスト大会を新型コロナウイルス感染対策の観点から中止せざるを得なかった。SC ビジネスフェア 2021 では、実開催からオンライン開催に切り替えるとともに、セミナー・シンポジウムをオンラインで無料聴講できるようにした。研修会事業もまたセミナーの開催方法や規模に制約を課されることとなったが、多くのセミナーを会議室での開催とパソコン・スマートフォンでも受講可能な Web セミナーの併催にて行うことにより、参加機会を拡げることができた。他方、テレワークが拡大し集合研修の実施が困難になる中、在宅にて学ぶことができる通信教育は受講者数を大きく伸ばした。

また、公共政策関連の取り組みとしては、国等にコロナ禍での SC 業界の現状を伝えながら諸般の支援策を要望するとともに会員への情報発信を行った。ホームページにて新型コロナウイルス情報提供サイトを開設した他、月刊 SC JAPAN TODAY では、新型コロナウイルスに関する緊急特集やウィズコロナ・アフターコロナを特集テーマに緊急を要する情報発信に取り組んだ。これらの取り組みなどを通じ会員サービスの向上に努め、2020 年度末の会員数は 929 社となった。

Ⅱ. 会議

1. 総会

【2020年度】 第48回定期総会(2020年5月27日)

2. 理事会

【2020年度】 第1回理事会(2020年4月23日)
※緊急事態宣言の発出を受けて、みなし決議にて行う。
第2回理事会(2020年5月27日)
第3回理事会(2020年10月23日)

3. 企画会議

【2020年度】 第1回企画会議(2020年10月16日)
第2回企画会議(2021年3月24日)

Ⅲ. 支部活動報告

| 支部名 | 活動報告 |
|-------|---|
| 北海道支部 | 1. 運営委員会 ・第1回(11月書面にて承認) 2. SC接客ロールプレイングコンテスト北海道大会(10月30日(金) サンピアザ劇場) ※中止 3. 支部総会 3月書面にて承認 |
| 東北支部 | 1. 支部総会(2021年3月5日) 3月書面にて承認 2. 運営委員会 (1) 第1回(8月3日・ホテルメトロポリタン仙台) (2) 第2回(10月30日・ホテルメトロポリタン仙台) (3) 第3回(2021年3月5日) ※中止 3. 秋の研修会・食事会 開催日・場所 10月30日・ホテルメトロポリタン仙台 参加者数 53名 プログラム ※講師役職は研修会開催時のもの 第1部 パネルディスカッション「コロナ禍における次世代に向けた取り組み」 ファシリテーター (一社)日本ショッピングセンター協会 東北支部 副支部長 (協)江釣子ショッピングセンター 副理事長 高橋 克史 氏 パネリスト イオンモール(株) イオンモール名取 ゼネラルマネージャー 前森 剛志 氏 仙台ターミナルビル(株) SC事業本部 エスパル仙台 副店長 渡辺 典男 氏 三菱地所リテールマネジメント(株) 運営1部 泉パークタウンタピオ 館長 古賀 伸宏 氏 第2部 講演会「バレーボールを通じて学んだこと」 講師 プロバレーボール選手 リガール仙台 佐藤 あり紗 氏 (リオデジャネイロ五輪 出場) 4. 講演会(2021年3月5日) ※延期 「未来をどう生き抜く -迫られるSCの構造変革-」 講師: (一社)日本ショッピングセンター協会 理事・調査研究委員会委員長 京都ステーションセンター(株) 顧問 JR西日本SC開発(株) 顧問 山田 宗司 氏 5. 防災関連の情報発信(パネルディスカッション) 「SCビジネスフェア2021 オンライン」にて配信(2月9日~28日) ※講師役職は研修会開催時のもの 「東北の未来へ～震災復興10年の歩み」 コーディネーター 仙台ターミナルビル(株) 取締役 SC事業本部 東北エリア開発センター センター長 小原 能和 氏 パネリスト イオンモール(株) 営業統括部 東北・北海道事業部長 秀方 純 氏 女川町 総務課公民連携室 室長 青山 貴博 氏 盛岡ターミナルビル(株) SC営業本部 営業企画部 担当課長 佐藤 繁 氏 仙台ターミナルビル(株) SC事業本部 東北エリア開発センター 副センター長 高橋 信介 氏 6. SC接客ロールプレイングコンテスト東北大会(9月29日~30日・ホテルメトロポリタン仙台) ※中止 |

| | |
|--|--|
| | <p>7. 東北デスティネーションキャンペーンへの協力 一般社団法人東北観光推進機構主催の「東北デスティネーションキャンペーン デジタルスタンプラリー」(2021年4月1日～9月30日)への参加について東北支部管内会員企業へ案内した。</p> |
|--|--|

| | |
|----------------------|--|
| <p>関東・甲信越 支部</p> | <p>1. 運営委員会 (1) 第1回(7月7日・協会会議室) (2) 第2回(11月24日・オンライン開催)</p> <p>2. 研修会 (1) 第1回研修会(5月8日公開)【WEB配信】 『新型コロナウイルス対策緊急セミナー～感染対策編～ 「新型コロナウイルス感染症への対応～SCの観点から考える～」』(2部構成) 講師: 本田 茂樹 氏(ミネルヴァベリタス(株) 顧問・信州大学 特任教授) ※初の試みとして、協会ホームページの「会員専用ページ」にてセミナーを無料公開。</p> <p>(2) 第2回研修会(9月28日公開)【WEB配信】 『新型コロナウイルス対策緊急セミナー～テナント支援編～ 「ウィズコロナ時代に求められるテナント支援とは」』 講師: 中山 亮 氏(株) トリニティーズ 代表取締役/SC 経営士)</p> <p>(3) 第3回研修会 ※延期 『現地視察研修「GREEN SPRINGS(グリーンズプリングス)」』 講師: 榊立飛 ストラテジーラボ ※新型コロナウイルス感染予防の観点から、従来、集合して行っていた施設担当者による説明会(講習)は、事前に収録した内容を参加者向け WEB 配信。現地では、バックヤードを含む視察研修のみ実施として企画。 ※緊急事態宣言の発出により延期。</p> <p>(4) 第4回研修会(2021年3月3日 オンライン開催) パネルディスカッション 『新型コロナウイルスに負けない SC へ～怒涛の1年を振り返り、今後の方策を探る～』 パネリスト: 松野 宏 氏(株) サンポップ 専務取締役 宮崎 勝之 氏(株) 相鉄ビルマネジメント 運営事業部横浜営業所長 青木 重人 氏(三井不動産(株) 商業施設本部商業施設営業一部営業グループグループ長) 進行役: 秋山 浄司 氏(株) 東急モールズデベロップメント 代表取締役社長)</p> <p>3. 単館 SC 研究会 (1) 第33回単館 SC 研究会(8月21日)※中止 (2) 第34回単館 SC 研究会(12月18日)※中止</p> <p>4. 支部総会(3月3日・オンライン開催) (第1部) 支部総会 (第2部) 第4回研修会</p> |
|----------------------|--|

| | |
|------|---|
| 中部支部 | <p>1. 運営委員会</p> <p>(1) 第1回(7月20日・コンベンションルーム AP 名古屋)</p> <p>①2020年度中部支部総会および運営委員会の日程について</p> <p>②会員候補企業ご紹介のお願いについて</p> <p>(2) 第2回(11月6日・コンベンションルーム AP 名古屋)</p> <p>①2020年度第3回運営委員会&支部総会の開催について</p> <p>②その他</p> <p>2. 支部主催研修会(7月20日・コンベンションルーム AP 名古屋) 参加者 33名</p> <p>・第1講『次世代通信 5Gの展望とSCビジネスにおける活用』</p> <p>講師:株式会社ドコモCS東海 取締役 法人事業部長 高橋 健 氏</p> <p>・第2講『栄地区のまちづくり動向と魅力づくり』</p> <p>講師:株式会社日建設計 都市部門 都市開発グループ ディレクター 廣瀬 元彦 氏</p> <p>3. SC接客ロールプレイングコンテスト中部大会 (11月4~6日・名古屋市中小企業振興会館メインホール)</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>4. 支部総会(3月18日)</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により書面決議</p> <p>(1) 支部総会</p> <p>①2020年度中部支部収支決算予想</p> <p>②2021年度協会活動基本方針</p> <p>③2021年度中部支部活動計画(案)</p> <p>④2021年度中部支部収支予算(案)</p> <p>(2) 研修会</p> <p>※延期</p> |
|------|---|

| | |
|------|---|
| 近畿支部 | <p>1. 運営委員会</p> <p>①第1回運営委員会(7月27日・サード・プレイス弥生)</p> <p>②第2回運営委員会(12月7日・サード・プレイス弥生)</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により書面決議</p> <p>2. SC研究会</p> <p>(1) 第1回(6月12日→新型コロナウイルス感染症拡大防止策のため中止)</p> <p>(2) 第2回(8月20日→新型コロナウイルス感染症拡大防止策のため中止)</p> <p>(3) 第3回(12月7日→大阪府医療非常事態宣言に伴い中止)</p> <p>3. SC研究会セミナー</p> <p>(1) 第1回(6月12日→新型コロナウイルス感染症拡大防止策のため中止)</p> <p>(2) 第2回(9月11日→新型コロナウイルス感染症拡大防止策のため中止)</p> <p>(3) 第3回(12月 → S C研究会と単館 S C交流会の共催)</p> <p>※WEB動画配信セミナーに変更</p> <p>※パネルディスカッション</p> <p>・テーマ「コロナ禍における飲食企業の対応策について」</p> <p>・パネリスト:三和実業(株) 常務取締役 西村 賢太 氏 (株) きらく 執行役員 営業部統括部長 守 美樹 氏</p> <p>・司 会:副支部長/S C研究会 座長 山本 敬二 氏</p> <p>・配 信期間:12月21日(月)~27日(日) <再生回数:83回></p> <p>※運営委員、SC研究会、単館SC交流会の方には事前公開 <12月3日~13日></p> <p>4. 単館 SC 交流会</p> <p>(1) 第1回(5 月 中→新型コロナウイルス感染症拡大防止策のため中止)</p> <p>(2) 第2回(7月10日→新型コロナウイルス感染症拡大防止策のため中止)</p> <p>(3) 第3回(9月11日→新型コロナウイルス感染症拡大防止策のため中止)</p> <p>(4) 第4回(12月) → S C研究会と単館 S C交流会の共催</p> |
|------|---|

| | |
|--|--|
| | <p>※WEB動画配信セミナーに変更</p> <p>※パネルディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ「コロナ禍における飲食企業の対応策について」 ・パネリスト:三和実業(株) 常務取締役 西村 賢太 氏 (株)きらく 執行役員 営業部統括部長 守 美樹 氏 ・司 会:副支部長/SC研究会 座長 山本 敬二 氏 ・配信期間:12月21日(月)～27日(日) <再生回数:83回> <p>※運営委員、SC研究会、単館SC交流会の方には事前公開 <12月3日～13日></p> <p>5. SC接客ロールプレイングコンテスト近畿大会 (開催日程:10月13日～10月16日) ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より中止</p> <p>6. 支部総会(3月19日・ホテルヴィスキオ尼崎)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021 年度近畿支部活動計画(案) ・2021 年度近畿支部収支予算(案) <p>7. SCフォーラム(3月19日・ホテルヴィスキオ尼崎) テーマ:『SDGs で持続可能なショッピングセンターを目指す』 講 師: (一社)日本ショッピングセンター協会 理事 百瀬 則子 氏</p> |
|--|--|

| | |
|-------------|---|
| 中国・四国 支部 | <p>1. 運営委員会</p> <p>(1)第1回運営委員会(8月25日)</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインにて開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2020 年度 中国・四国支部活動全体スケジュール ②研修会、中国・四国支部総会&講演会について ③入会促進のお願いについて <p>(2)第2回運営委員会(12月1日)</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により書面決議</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2020 年度第3回運営委員会&支部総会の開催について <p>(3)第3回運営委員会(3月4日)</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>2. 研修会(12月1日)</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により延期</p> <p>3. 支部総会(3月4日)</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインにて開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2020 年度 中国・四国支部収支決算予想 ②2021 年度協会活動基本方針(案) ③2021 年度 中国・四国支部活動計画(案) ④2021 年度 中国・四国支部収支予算(案) <p>4. 記念講演(3月4日)</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>5. SC 接客ロールプレイングコンテスト中国・四国大会 (11月25日～27日・さん太ホール)</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> |
|-------------|---|

| | |
|-------------|---|
| 九州・沖縄 支部 | <p>1. 運営委員会</p> <p>(1)第1回(11月13日・JR博多シティ)</p> <p>2. 支部総会(2021年3月) *書面での承認</p> <p>3. SC 接客ロールプレイングコンテスト九州・沖縄支部大会 (10月20日～21日・JR九州ホール)</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> |
|-------------|---|

IV 委員会活動総括

1. 総務・会員委員会

1. 2020年度 活動総括

総務・会員委員会では、主に次の項目について審議をおこない、企画会議に諮った。

- (1) 会員の入退会と会員サービスについて
- (2) 会員募集について
- (3) 人材確保対策の取組み推進について
- (4) 2021年度税制等改正要望について
- (5) 2020年度事業活動総括、2021年度事業計画について
- (6) 2020年度収支見込み、2021年度収支予算について
- (7) SCビジネスミーティングの実施について

・会員募集について

・総務・会員委員会では入会キャンペーンを実施、理事各位・各支部・専門委員会委員各位にも「会員紹介のお願い」を依頼した。その結果、10社の新規会員にご入会いただいた。

会員募集キャンペーンの内容

期間:9月15日(火)から11月30日(月) 延長して3月31日(水)まで

特典:・10,000円～30,000円の入会金が無料

・WEBセミナー(通常30,000円)へ1名様無料

・新会員のご紹介とPRにパンフレットを協会理事70名に送付(初年度1回限定)

・SCビジネスミーティング開催報告

| | 開催日時 | テーマ | 登壇企業 | 参加人数 |
|---|-------------|----------------------------|--------------|------|
| ① | 12月17日(木) | 実店舗とネットの融合、実店舗の効果的なネット活用 | Pathee | 51 |
| | 10:30~11:30 | | 空色 | |
| ② | 1月19日(火) | 食関連(食品リサイクル、食品衛生) | Jバイオフードリサイクル | 37 |
| | 14:00~15:00 | | 町田予防衛生研究所 | |
| ③ | 2月24日(水) | 接客トレーニングの提案 | ワンスアラウンド | 24 |
| | 10:30~11:30 | | サンクスドリーム | |
| ④ | 3月8日(火) | 子育てファミリー層の集客に向けた設備の提案 | Trim | 24 |
| | 10:30~11:30 | | コンビウィズ | |
| ⑤ | 3月30日(火) | ウィズコロナ、アフターコロナでのイベントに関する提案 | ユメ・フルサト | 14 |
| | 10:30~11:30 | | WOTA | |

12月より5回開催し、第2回以降は約20名前後の参加申込をいただいている。参加URLを社内で共有している企業もあるようなので、平均参加者数は30名弱と想定される。

■会員の入退会状況(2020年4月1日～2021年3月31日)

| 会員種別 | 2019年度末 | 2020年度 | | | | 2020年度末 |
|--------|---------|--------|----|-----|-----|---------|
| | | 入会 | 退会 | 期末 | 増減 | |
| 第一種正会員 | 322 | 6 | 14 | 314 | -8 | 314 |
| 第二種正会員 | 313 | 7 | 34 | 286 | -27 | 286 |
| 賛助会員 | 328 | 30 | 29 | 329 | 1 | 329 |
| 合計 | 963 | 43 | 77 | 929 | -34 | 929 |

2. 【人材確保対策特別委員会】2020年度 活動総括

- (1) SC接客ロールプレイングコンテストの受賞者の事例発信
月刊誌に受賞者インタビュー掲載
6～11月号
- (2) 月刊誌6月号にSCの働き方に関する特集号発刊
＜特集＞ダイバーシティ&インクルージョン ～SCの働き方～
- (3) 各委員会・各支部にESに関する働きかけ
 - ①人材確保に関する定量調査 2020(調査研究委員会)
・協会HP会員ページに掲載
 - ②セミナー(人材育成委員会)
・人手不足解消セミナー(3月5日(金))
 - ③SCビジネスフェア 2021 ONLINE パネルディスカッション(全国大会実行委員会、DX委員会)
 - 1)生産性向上(テクノロジー等)に関するパネルディスカッション
テーマ『デジタルトランスフォーメーション(DX)委員会が目指す、「SC業界のOMO」と「従業員の接客専念体制の創出」』
 - 2)働き方に関するパネルディスカッション
テーマ『SC新時代に向けた持続可能な働き方を考える』
- (4) 採用・定着・育成に資する寄稿の発信(例:人材支援企業によるアドバイスなど)
月刊誌5月号
【最新動向】
パート・アルバイト採用に関する動向

2. 公共政策・環境委員会

1. 2020 年度 活動総括

2020 年度においては、2020 年初からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う対応・取り組みが中心になったと言える。

未曾有の事態における、緊急事態宣言の発出を含む国・地方自治体の様々な動向に対して、官公庁や他業界団体との連携・調整を行うと共に、会員への迅速な情報提供に努めた。感染防止対策においては、他業界団体と共同でガイドラインも作成・公表した。また感染拡大による消費行動の変化や、SC の休業・時短営業と言った直接的な制限により SC 業界も深刻な影響を受けた中、緊急経済対策やディベロッパー・テナント双方かつ企業規模に寄らない各種支援について国等へ適宜要望した他、「2021 年度税制等改正要望」においても重点的に要望を行った。

他方で、コロナ関連以外にも委員会の基礎的活動として、外部委員会への参加を始めとする官公庁等との連携による情報収集、調整・要望等を行うと共に、会員へのタイムリーかつ有益な情報提供に努めた。

2020 年度においては、災害対策として東京都及び大阪府と避難対策等における包括協定を締結し、SC の社会活動の一環と言える災害対策について、先行事例として連携・協力して進める事となった。また SC の地域貢献については、取り組みの現状や具体的な好事例の発信に向けて、SC 協会が策定した地域貢献ガイドラインのフォローアップ調査を実施した。

その他に継続して、環境問題の一環として「低炭素社会実行計画」のフォローアップ調査を実施・公表した他、企業の環境活動の第三者認証制度であるエコマークにおいて新たに制定された「商業施設」認定基準について、説明会とオンデマンド配信にて周知・理解促進を図った。

2. 事業報告

(1) 新型コロナウイルス感染症に係る公共政策の取り組み

- ・国や地方自治体等と連携した情報収集と、会員への迅速かつ有益な情報提供。
- ・国等に対し、感染拡大や緊急事態宣言発出に伴う SC 業界の実情を踏まえた「緊急経済対策(固定資産税、持続化給付金)」「テナント家賃支援策」に関する要望を提出。
- ・他業界団体と共同で「小売業の店舗における新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン」を作成、公表。またガイドラインについては適宜改訂している他、各 SC の遵守状況の自主点検用に、チェックリストとステッカーを作成して協力依頼を実施。

(2) 2021 年度税制等改正要望

コロナによる影響の深刻化を受け、国等により踏み込んだ要望を行うため、会員に対して現状と要望に関するアンケート調査を実施。

コロナ下で傷んだ企業経営への更なる打撃とならないよう「来年度評価替えとなる固定資産税等の負担軽減措置」と、近年の自然災害の頻発化に鑑み「災害時に公益的役割を担う商業施設への公的支援強化」に重点を置いた要望を実施。要望に際しては、各政策を所管する国土交通省との意見交換会を行った他、経済産業省へ直接要望した。

要望の結果として、

- ・固定資産税について「2021 年度に限り課税額は据え置きまたは引き下げ」「負担調整措置の 3 年間延長」
- ・災害対策について
 - 「水害対策の取り組みに応じた建築物の容積率緩和制度の活用促進」
 - 「水害時の避難者を一時的に受け入れる施設を整備した場合の、掛かり増し費用の全額補助制度を新設」
 - 「一定の雨水貯留浸透施設の固定資産税の軽減」等の税制・制度措置が行われる事となった。

(3) 公共政策に関する情報収集と各種要望・周知活動

外部委員会への参加や官公庁等との連携による情報収集等と、会員への情報提供を行った。

- ・「GOTO キャンペーン」(トラベル、イート)における SC の申請方法
 - ・消費税総額表示の対応(消費税転嫁対策特別措置法の失効後)
 - ・障害者差別解消法に関する対応
- 等

(4) SC の災害対策、地域貢献に関する取り組み

- ・東京都と「避難対策等における連携と協力に関する包括協定」を締結。
- ・大阪府と「避難対策等における連携と協力に関する包括協定」を締結。
- ・SC 協会が策定した「地域貢献ガイドライン」のフォローアップ調査を実施。

(5) SC の環境問題に関する取り組み

- ・低炭素社会実行計画のフォローアップ調査を実施。
- ・環境政策(環境省)と、エコマーク「商業施設」認定基準に関する説明会、オンデマンド配信実施。

3. 人材育成委員会

1. 2020年度 活動総括

(1)2020年度 基本方針

2020 中期運営計画（2020 年度～2023 年度）のスタート年度にあたる 2020 年度は、引き続き SC を取り巻く厳しい環境の中、いつの時代にも必要なベーシックなセミナーを提供するとともに、加速度的に変化する経営環境の中で、SC 業界の新時代を見据え、今後の SC の方向性を考えるヒントとなるような内容を提供していく。

併せて、首都圏以外の会員への受講機会拡大を目指す ICT を活用した WEB セミナーは新たな取り組みを含め一層の拡充を図っていく。

また、SC 経営士試験実行委員会は人材育成委員会とより密接な連携を図りながら、円滑に試験関連事業を推進していく。

【重点施策】

- ①「セミナー」は、ベーシックな基本セミナーと共に、新しい時代への対応、人材確保等 SC 業界の重点テーマを取り上げるとともに、ICT 活用による遠隔セミナーの拡充を図り、年間 48 本実施する。
- ②「海外研修」は最新 SC や専門店、まちづくりなど注目される都市を選定するとともに、目的、テーマを明確にし、米国 2 本、欧州 1 本に、新たな中国を加えた 4 本を催行する。
- ③「SC アカデミー」は、第 14 期では「SC 序論(合宿研修)」「SC 総論 I」「SC 総論 II」「SC 経営実践論」「特別演習」等の各カリキュラムの内容及び運営方法の見直しを図り、実施する。
- ④「冠講座」「SC 経営士資格更新講習」については、SC 経営士会の協力のもと、新たな視点を加味し、円滑な運営を図る。
- ⑤「SC 経営士試験」については、内容の一層の充実を図る。

2020 年度は上記の基本方針の基、セミナーや SC アカデミー等を実施した。

(2)セミナー

SC に関する基本的なテーマから、SDGs や DX をテーマにしたものまで、SC 業界の重点テーマを取り上げ、2021 年 3 月までに 39 本を開催した。延べ参加者数は 964 名と、目標 1,500 名に対して▲546 名、集客の予算比は 64.3%となっている。

個別の集客状況としては、例えば、DX 関係や、初心者向けの基本管理運営セミナーや基礎セミナーの一部は受講者が多く好評であったが、同じく初心者向けの新入社員向けセミナーや出店契約書セミナーは受講者を大きく減らすなど、従来の傾向とは異なった結果が出ている。

WEB セミナーは、2019 年度の 4 本から 32 本へと一気に拡大し、コロナ禍の地方会員の受講機会の確保に加えて首都圏会員の受講の利便性向上にも繋がっている。

また、一部の WEB セミナーはアーカイブ化とその利活用を行い、複数回の配信によって受講機会の確保に努めた。

(3)海外研修

「ヨーロッパ」(6 月)、「米国東海岸」(9 月)、「中国」(11 月)「米国西海岸」(2 月)の計 4 本を計画したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全てのツアーを中止とした。

(4)SC アカデミー

第 14 期は受講生 42 名、コロナ禍の影響により、開講式は中止となった。「合宿研修」、「SC 総論 I」、「SC 総論 II」、「SC 経営実践論」、「特別演習」の各カリキュラムについては、スケジュールの変更、広い会場への変更、「Zoom」使用によるオンラインによる講義を実施するなど感染予防対策を行いながら、何とか全カリキュラムを終了することができた。ただ、講師および受講生同士とのコミュニケーションについては、これまでのように自由とはいかず、受講生にとって SC アカデミーのひとつの目的であるネットワークづくりについては、少々不満が残った。

第 14 期卒業論文の最終審査は 3 月 17 日(水)に実施した。

(5)冠講座

SC 経営士会との連携のもと、年間 1 校を実施した。

上期…流通科学大学 ※新型コロナウイルスの影響により中止。

下期…東京電機大学大学院(9 月 25 日～1 月 8 日)

(6)SC 経営士試験

第 29 期 SC 経営士試験を実施し、受験者数は前期(第 28 期)よりも 88 名少ない 139 名が受験、最終合格者数は前期よりも 7 名少ない 48 名となった。

また、前期より二次試験不合格者へのフィードバックを実施しているが、その結果、二次試験不合格者は前期よりも10名少ない3名と大幅に減った。

新型コロナウイルス感染拡大防止策として、一次試験はフィジカルディスタンスを保った 1 名掛けのレイアウトにし、二次試験の口頭試問は、Zoom を使用したリモートに切り替えて実施し、その結果、無事に試験スケジュールを滞ることなく終了した。

2. 事業報告

(1) セミナー

| セミナー名 | 開催期日 | 開催地 | 階層 | 参加者数 (a) | 予定参加 者数(b) | 比較増減 (a)-(b) | 予算比 | リアル | WEB |
|---------------------------|-------------|--------|----|-------------|---------------|-----------------|--------|-----|-----|
| 第33回SC緑陰トップフォーラムin箱根 | 7月9日-10日 | 神奈川 | E | 59 | 65 | -6 | 90.8% | | |
| SC基本管理運営セミナー | 7月14日-15日 | 東京・WEB | A | 73 | 45 | 28 | 162.2% | 25 | 48 |
| SC出店契約に関わる法律セミナー | 7月16日 | 東京・WEB | C | 36 | 45 | -9 | 80.0% | 22 | 14 |
| ニューテクノロジーがもたらすSCの未来セミナー | 7月14日-20日 | WEB | C | 8 | 30 | -22 | 26.7% | | |
| SCテナントミックス・リーシングセミナー | 7月22日 | 東京 | C | 8 | 30 | -22 | 26.7% | | |
| 7月 | 5本 | | | 184 | 215 | -31 | 85.6% | 47 | 62 |
| 最新海外SC情報セミナー～アジア編～ | 8月25日 | 東京・WEB | C | 7 | 25 | -18 | 28.0% | 2 | 5 |
| SC施設管理セミナー | 8月28日 | 東京・WEB | C | 27 | 40 | -13 | 67.5% | 16 | 11 |
| 「SC管理運営の基礎知識を学ぶ・全5回シリーズ」1 | 8月19日 | 東京・WEB | A | 44 | 45 | -1 | 97.8% | 12 | 32 |
| 「SC管理運営の基礎知識を学ぶ・全5回シリーズ」2 | 8月26日 | 東京・WEB | A | 35 | 45 | -10 | 77.8% | 15 | 20 |
| 8月 | 4本 | | | 113 | 155 | -42 | 72.9% | 45 | 68 |
| 「SC管理運営の基礎知識を学ぶ・全5回シリーズ」3 | 9月2日 | 東京・WEB | A | 21 | 35 | -14 | 60.0% | 6 | 15 |
| 「SC管理運営の基礎知識を学ぶ・全5回シリーズ」4 | 9月9日 | 東京・WEB | A | 28 | 35 | -7 | 80.0% | 7 | 21 |
| 「SC管理運営の基礎知識を学ぶ・全5回シリーズ」5 | 9月16日 | 東京・WEB | A | 23 | 35 | -12 | 65.7% | 9 | 14 |
| SC出店契約書の基礎が学べるセミナー | 9月15日 | 東京 | A | 14 | 40 | -26 | 35.0% | | |
| データマーケティングセミナー | 9月24日 | 東京・WEB | C | 35 | 30 | 5 | 116.7% | 5 | 30 |
| テナント向けSC法律セミナー | 9月29日-10月5日 | WEB | A | 15 | 25 | -10 | 60.0% | | |
| 9月 | 6本 | | | 136 | 200 | -64 | 68.0% | 27 | 80 |
| SC販促・イベントセミナー | 10月8日 | 東京・WEB | C | 37 | 50 | -13 | 74.0% | 2 | 35 |
| SC業界初心者向けフレッシュヤーズセミナー | 10月15日 | 東京・WEB | A | 37 | 70 | -33 | 52.9% | 11 | 26 |
| SCクレーム対策セミナー | 10月21日 | 東京・WEB | C | 14 | 25 | -11 | 56.0% | 7 | 7 |
| SC出店契約に関わる法律セミナー | 10月23日 | 大阪・WEB | C | 14 | 20 | -6 | 70.0% | 5 | 9 |
| 10月 | 4本 | | | 102 | 165 | -63 | 61.8% | 25 | 77 |
| 第19回SC秋晴れトップフォーラム | 11月5日 | 東京 | E | 59 | 40 | 19 | 147.5% | | |
| SC基本開発セミナー | 11月16日-17日 | 東京・WEB | A | 25 | 45 | -20 | 55.6% | 8 | 17 |
| SC事業戦略セミナー | 11月25日 | 東京・WEB | D | 19 | 35 | -16 | 54.3% | 10 | 9 |
| SC危機管理対策セミナー | 11月26日 | 東京・WEB | C | 12 | 30 | -18 | 40.0% | 8 | 4 |
| 11月 | 4本 | | | 115 | 150 | -35 | 76.7% | 26 | 30 |
| 新時代対応型SC戦略セミナー | 12月2日 | 東京・WEB | C | 35 | 40 | -5 | 87.5% | 9 | 26 |
| SCテナント従業員教育セミナー | 12月3日 | 東京・WEB | C | 15 | 30 | -15 | 50.0% | 4 | 11 |
| SC視察セミナー | 12月4日 | 神奈川 | C | 30 | 30 | 0 | 100.0% | | |
| SDGsセミナー | 12月7日 | 東京・WEB | C | 16 | 30 | -14 | 53.3% | 12 | 4 |
| まちづくり・地域活性化セミナー | 12月8日 | 東京・WEB | C | 9 | 35 | -26 | 25.7% | 8 | 1 |
| 12月 | 5本 | | | 105 | 165 | -60 | 63.6% | 33 | 42 |
| SC営業管理担当者ステップアップセミナー | 1月27日-28日 | 東京・WEB | B | 38 | 80 | -42 | 47.5% | 8 | 30 |
| 1月 | 2本 | | | 38 | 80 | -42 | 47.5% | 8 | 30 |
| クレームの基本対応セミナー | 2月3日 | 東京・WEB | A | 5 | 30 | -25 | 16.7% | 0 | 5 |
| SCテナントリーシング担当者ステップアップセミナー | 2月17日-18日 | 東京・WEB | B | 61 | 90 | -29 | 67.8% | 21 | 40 |
| 2月 | 3本 | | | 66 | 120 | -54 | 55.0% | 21 | 45 |
| 飲食・食品ゾーン活性化セミナー | 3月4日 | 東京・WEB | C | 9 | 35 | -26 | 25.7% | 7 | 2 |
| 人手不足解消セミナー | 3月5日 | 東京・WEB | C | 2 | 30 | -28 | 6.7% | 0 | 2 |
| SCにおける食の安全管理対策セミナー | 3月10日 | 東京・WEB | C | 12 | 30 | -18 | 40.0% | 6 | 6 |
| 最新海外SC情報セミナー～米国編～ | 3月23日 | WEB | C | 63 | 35 | 28 | 180.0% | | |
| SC契約実務対策セミナー | 3月25日 | 東京・WEB | C | 18 | 40 | -22 | 45.0% | 12 | 6 |
| SCプロモーション担当者ステップアップセミナー | 3月30日 | 東京・WEB | B | 1 | 80 | -79 | 1.3% | | |
| 3月 | 6本 | | | 105 | 250 | -145 | 42.0% | 25 | 16 |
| 合計 | 39本 | | | 964 | 1500 | -536 | 64.3% | 257 | 450 |

※同一セミナーのリアル・WEB併催時の参加者比率は36.4%：63.8%

| 年度 | 延べ参加者数 (a) | 予定参加者数 (b) | 比較増減 (a-b) | 予算比 (a/b) |
|--------|------------|------------|------------|-----------|
| 2020年度 | 964 | 1,500 | -536 | 64.3% |
| 2019年度 | 1,505 | 1,651 | -146 | 91.2% |
| 2018年度 | 1,624 | 1,678 | -54 | 96.8% |

(2)海外研修

| 年度 | 開催数 | 参加者数 | | |
|--------|-----|-------|-------|-----------|
| | | 実績(a) | 目標(b) | (a) - (b) |
| 2020年度 | 4回 | 0 | 85 | -85 |
| 2019年度 | 3回 | 66 | 85 | -19 |

| ツアー名 | 開催期日 | 訪問都市 | 参加者数 | | |
|-------|---------|---------------------|-------|-------|---------|
| | | | 実績(a) | 目標(b) | (a)-(b) |
| 第144回 | 2020年6月 | ヨーロッパ | 0 | 25 | -25 |
| 第145回 | 9月 | 米国東海岸 (ニューヨーク、他) | 0 | 25 | -25 |
| 第146回 | 11月 | 中国 | 0 | 15 | -15 |
| 第147回 | 2021年2月 | 米国西海岸 (ロサンゼルス、他) | 0 | 20 | -20 |

(3)通信教育

| 講座名 | 2020年度 | | | 2019年度 | |
|----------|--------|-------|-----------------|--------|-----------------|
| | 実績(a) | 目標(b) | 比較増減 (a)-(b) | 実績(c) | 前年度差 (a)-(c) |
| SC開発講座 | 277 | 141 | 136 | 121 | 156 |
| SC管理運営講座 | 858 | 467 | 391 | 451 | 407 |
| 合計 | 1,135 | 608 | 527 | 572 | 563 |

(4)テナントスタッフハンドブック 販売数 210冊(予算220冊 2019年度実績 269冊)

(5)SCマネジメントブック 販売数 123冊(予算154冊 2019年度実績 180冊)

(6)サポート関連 実施数 3件 (予算31件)

(7)SCアカデミー

(第14期 42名 卒業論文状況)

12月4日(金)の「SC総論Ⅰ※」をもって全単元が終了し、2月3日(水)に卒業論文が最終提出された。

※コロナ禍の影響により「SC総論Ⅰ」の日程の変更

当初の日程(4/17,4/24,5/8,5/15,5/22,5/29)⇒変更後(11/20,11/27,12/4)

(卒業論文審査過程)

最終提出日 2月3日(水)

一次審査 2月16日(火)～17日(水) 42編 ⇒ 12編

二次審査 3月2日(火) 12編 ⇒ 6編

最終審査 3月17日(水) 6編より最優秀賞、優秀賞、佳作が決定

(8)SC経営士更新講習

SC経営士登録更新者 129名

4. 情報委員会

1. 2020年度 活動総括

(1) 総括

月刊 SC JAPAN TODAY では、5月号～7・8月合併号にて新型コロナウイルス関連の緊急特集を行ったほか、9月号以降は、当初の予定を変更し、新型コロナウイルス対策を意識した特集テーマに変更。編集委員ならびに各委員会の協力のもと、実務に直結する事例を中心に紹介している。

また、協会ホームページでは、「新型コロナウイルス対策特設サイト」を設置し、行政や自治体などの対応について周知するなど、迅速な情報発信に努めてきた。

(2) 事業報告

①月刊誌

1)特集テーマ

4月号 『いよいよ2020“体験”で世界のお客様をおもてなし』

5月号 『<緊急特集>新型コロナウイルス 今求められるSCの対応策』
お客様・従業員双方の安心に向けて ～日常リスクへの備え～』

6月号 『<緊急特集>新型コロナウイルスの感染拡大がもたらしたSCへの影響』
ダイバーシティ&インクルージョン ～SCの働き方～』

7・8月合併号『<緊急特集>コロナショックで問われるリアル店舗の進化
変わる消費者にどう立ち向かうか ～ビジネスモデル最前線～』

9月号 『ニューノーマル時代の新しい食生活』

10月号 『ウィズコロナ時代 SCが今取り組むべきこと』

11月号 『加速するDX ～コロナショックで新たなステージへ～』

12月号 『リニューアルにみる次世代SCづくり』

1・2月合併号『特集1 進化する交通施設の商業ゾーン
特集2 最新駐車場対策とMaaS』

3月号 『商業施設の新潮流』

②広報活動

1)定例記者懇談会

・第1回(夏) 2020年7月20日(金)

場所:ホテルメトロポリタンエドモント

出席者 マスコミ 26名(26社)

発表内容 2020年(上期)SC動向、新型コロナウイルス感染拡大に伴う業界の動向 ほか

・第2回(冬) 2020年12月23日(水)

場所:ホテルメトロポリタンエドモント

出席者 マスコミ 32名(28社)

発表内容 2021年頭所感、2020年SC動向、2020年協会活動について ほか

※新型コロナウイルス感染防止の観点から、記者の参加を制限して開催。

※同様の観点から例年開催している懇談会終了後の懇親会については中止とした。

2)ニュースリリース配信

・販売統計(2020年3月～2021年1月) 11回

・SC白書2020 1回

・定例記者懇談会 2回

・東京都との避難対策等における包括協定 1回

・SCビジネスフェアオンライン展示会 4回

計19回

*記者クラブへの投げ込み 各165件(7月、11月)

(東商記者クラブ30件、国土交通省記者会80件、国土交通省交通運輸記者会15件、
国土交通省建設専門誌記者会20件、東京都庁記者クラブ20件)

3)メルマガ配信

毎月月末に配信。主な内容は協会活動、セミナー募集等。配信数は約 5300 件。

*2020 年 4 月～2021 年 3 月

その他、臨時号として月中(15 日)に 2020 年 9 月(セミナーご案内)、2021 年 2 月(支部開催イベント)を配信した。

4)取材対応

- ・地域新聞社 (9/7) : with コロナ時代のショッピング事情
施設側での取り組みや消費者がとるべき行動
- ・日本工業経済新聞社さいたま支局 (10/7) : 今後の商業施設の見通し

5. 調査研究委員会

1. 2020 年度 活動総括

(1) 総括

2020 年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、SCの売上が記録的に落ち込み、厳しい年となった。そのような状況のなか、SCディベロッパー、テナント企業各社のご協力により、既存調査(SC販売統計調査、賃料・共益費実態調査)、SC白書の発刊、SCオープン情報や計画情報の提供、2015 年度から開始した人材確保定量調査の継続調査を滞りなく実施した。

SC白書は、従来の冊子版に加え、情報発信強化の一環として新たに電子版を作成して協会HP(一般ページ)に掲載した。年末年始販売動向調査、人材確保定量調査は、新型コロナウイルスの影響に関しても調査した。

また、委員会の再編を受けて、従来よりも高頻度で海外SC情報を会員へ提供していくため、昨今進展のめざましいデジタルトランスフォーメーション(DX)の海外事例紹介レポートの作成を進めた。

(2) 事業報告

①各種定例調査の実施

1) SC販売統計調査の実施

販売統計調査は、月次、四半期、上半期、下半期、年間調査を実施するとともに、年末年始の販売動向調査を着実に実施した。

年末年始調査は、「立地別・都市規模別」の分析を新たに追加するとともに、新型コロナウイルスに関する調査も追加した。

2) SC賃料・共益費実態調査 2020 の発表

月坪賃料、共益費、総合賃料の調査を実施し、12 月 25 日に協会HP(会員ページ)にて発表した。会員ディベロッパー企業各社のご協力により、サンプル数は 319SCとなった。

3) SC白書 2020 の発刊、SC開発動向等データの発表

国内外のSC業界の動向や各種基礎データを掲載した「SC白書 2020 ～新しいライフスタイルをリードするSC～」を第 48 回定期総会時(5 月 27 日)に発刊した。

また、会員ページに「SCオープン(月次)」「計画情報(月次)」「SC基礎データ(年 1 回・6 月)」を、一般ページに「大店立地法新設届出情報(月次)」を掲載した。

4) 人材確保に関する定量調査の実施

2015 年度から開始した「人材確保に関する定量調査(ディベロッパー、テナント)」の継続調査を実施し、速報を 12 月 23 日の定例記者懇談会で報告し、全表を協会HP(会員ページ)で 2 月 25 日に発表した。調査項目については、人材確保対策特別委員会からの要望を受け、新型コロナウイルスの影響に関する質問項目も追加した。

②調査結果の周知拡大

情報発信強化の一環として、従来は冊子でのみ発行していた「SC白書」を電子版で作成し、協会HP(一般ページ)に掲載した。閲覧者数は 2 月末時点で 7,570UU となった。

また、夏(7 月)と冬(12 月)の定例記者懇談会では、古屋専務理事、山田委員長から 2020 年業界動向や人材確保調査等について報告をおこなった。

その他、SC販売統計(年間)調査結果を 2020 年 4 月号に掲載した。

③海外SC情報の発信

1) デジタルトランスフォーメーション(DX)に関する調査研究

新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに急速に進展するデジタルトランスフォーメーション(DX)に関する海外の先進事例のレポート『海外の事例から学ぶSCにおけるDXの方向性』を作成し、協会HP(会員ページ)に掲載した。

レポートの骨子は下記の通り。

- a. ビフォーコロナにおける小売業のデジタル化
- b. 海外の小売業等に見るデジタル戦略と分析
- c. 国内SCが取り組むべき戦略の方向性

(3) 海外SC情報の収集・発信

ICSC(国際ショッピングセンター協会)が発行するレポートを会員向けに発信準備に着手した。

6. 全国大会実行委員会

1. 2020年度(第45回) 活動総括

(1) 概要について

第45回日本ショッピングセンター全国大会「SCビジネスフェア2021 オンライン」は、SC業界初のオンライン展示会として、本開催は2月9日(水)～16日(金)の8日間、アーカイブ公開は2月18日～28日の11日間で開催した。

SCビジネスフェア(商談展示会)は、106社の出展規模であった。このうち、発見マルシェは12社、DX・テクノロジーは13社であった。

WEB上の掲載位置、画像や動画掲載数により出展プランを設けた。出展料の高いプランから「プレミアム」「スタンダード」「ベーシック」。

| ゾーン | 出展者数 | プラン |
|-------------------|------|----------------|
| ディベロッパー | 36 | P=12、S=14、B=10 |
| テナント(発見マルシェ12社含む) | 30 | S=2、B=16 |
| サポート | 27 | P=1、S=11、B=15 |
| DX・テクノロジー | 13 | P=2、S=5、B=6 |
| 合計 | 106 | P=15、S=32、B=47 |

*P=プレミアム、S=スタンダード、B=ベーシック

事前登録数は10,341名(協会会員比率61%)であった。全19期間の来場者数は延べ23,666名(前回実開催延べ53,400人)。

3回目となる特別協賛は、前回の5社(東日本旅客鉄道、東急グループ、ルミネ、KDDI、楽天ペイメント/敬称略)より1社減り4社(東日本旅客鉄道、東急グループ、JLL、乃村工藝社/敬称略)。各社の企業ロゴを公式WEBサイトのトップページおよびゾーン別ページに常時掲載。新聞広告、DMはがきに掲載した。

(2) 発見マルシェについて

「食関連」やアパレル・雑貨、防災関連のコンサルなどが出展した。

(3) DX・テクノロジーゾーン

コロナ下で急進したDX(デジタルトランスフォーメーション)は、SC業界においても、職場環境及び業務改善や、店舗の生産性向上などを目指して新技術の導入が進んでいる。本展示会では、本年度新設されたDX委員会の協力を得て、店舗運営やSC運営に役立つ技術の紹介を行った。出展者数は13社。

(4) シンポジウム・セミナーについて

セミナーは総講座数21講座(49講座)で、内訳は主催者企画が11講座(15講座)、出展者プレゼンテーションが10講座(34講座)であった。※()内は前回実績

セミナーページにおける延べ総視聴者数(ユニーク数)は、14,539名(20日間)で、前回の延べ聴講者数5,069名(3日間)の約2.9倍となった。 ※各出展者ブースでの動画データ視聴数などは、含まれていません。主催者企画においては、従来の有料セミナーレベルの講座(7講座)が無料で視聴できたため、延べ12,390名

に聴講いただき、前回の1,928名の約6.4倍となった。

○日別の視聴者数では、土日祝日の視聴者数が伸び悩んだが、開催初日(2/9)は、ライブ配信講座(3講座)の視聴者数(2,149名)が大きく牽引し、初日だけで20日間の約26%となる、延べ3,808名に視聴いただいた。

○視聴者数が多かった講座のTOP3は以下の通りであった。

| | |
|-----------------------------------|---------------|
| No.1 「コロナで変わるSCの方向性」(パネルディスカッション) | 2,034名(ライブ配信) |
| No.2 岩村 康次 氏(イオンモール株) 代表取締役社長) | 1,917名(ライブ配信) |
| No.3 SC経営士会 | 1,758名 |

7. 接客ロールプレイングコンテスト実行委員会

1. 2020 年度 活動総括

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、2020 年度第 26 回 SC 接客ロールプレイングコンテスト支部大会/全国大会、SC接客マイスター検定試験は開催中止となった。

8. デジタルトランスフォーメーション委員会

1. 2020年度 活動総括

(1) 総括

近年の情報技術の革新は著しく、多くの分野でデジタル・データ等の活用の可能性が広がっている。SCにおいても業務効率化・生産性向上など、持続的成長のための様々な課題解決に向けて、デジタルトランスフォーメーション(DX)の活用は必要不可欠となっている。

SC協会では、ニューテクノロジーの活用支援、DX推進に取り組みやすい環境の整備、DXに取り組む機運の醸成に取り組み、DX活用による会員企業の更なる事業展開に寄与するため、DX委員会を新設した。

2020年度は、SCの現状からDXを手段として解決すべき課題を掘り起こし、「CX(顧客体験)」「EX(従業員体験)」かつ「各社でそれぞれ特性を打ち出して取り組む領域(=競争領域)」「業界で共通化するメリットが多い領域(協調領域)」の視点で取り組むべき優先課題の整理を行った。その結果「EX×協調領域」において今後の重点テーマを設定して取り組む事となり、「CX×競争領域」については次年度以降協会メディア・イベントを通じた積極的な情報提供を行う事となった。

また他委員会等と連携して座談会・パネルディスカッションを実施し、委員会が目指す方向性について対外的な情報発信も行った。

(2) 事業報告

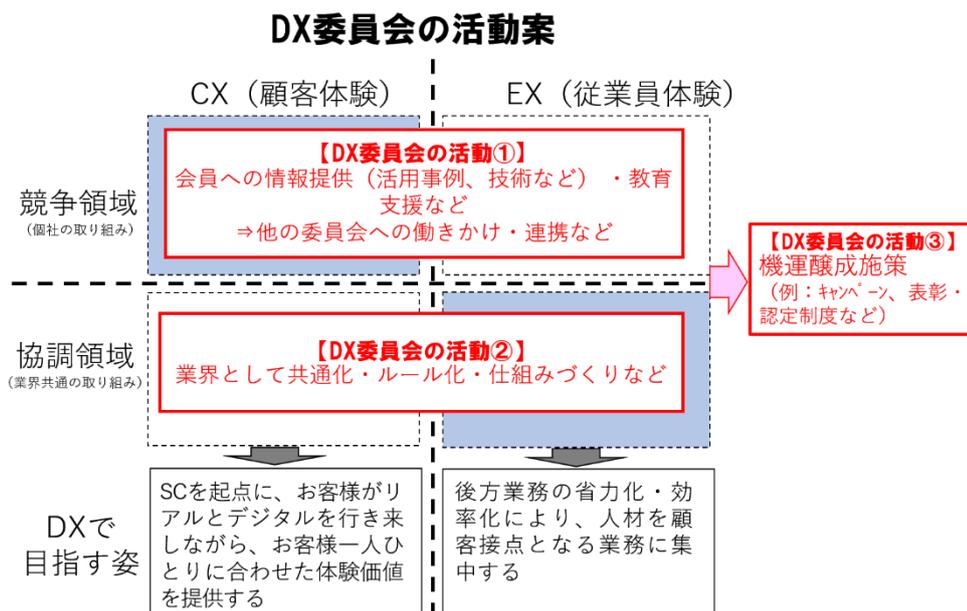
①DX委員会で取り組むべき課題の整理と「EX×協調領域」における重点テーマの設定

CX・EXにおけるDX委員会としての活動領域を、競争領域と協調領域に整理。

DX委員会を新設した事で新たに取り組むと言える協調領域では、より多くの課題が挙げられたEXを優先とし、「EX×協調領域」の重点テーマとして『「売上報告／売上管理」の効率化・生産性向上(テナントレジとディベロPPER売上管理システムの連携)』に取り組む事となった。なお各社の経営方針や既存システムと言った諸事情も踏まえ、中長期的なスパンでの解決を目指す。

<DX 委員会の活動イメージ>

横軸:【競争領域(各社で取り組むこと)】と【協調領域(業界共通で取り組むこと)】
縦軸:【CX(顧客体験)】と【EX(従業員体験)】



| | |
|-----------------|-----------------------------|
| DX 委員会の活動①:競争領域 | 他委員会と連携し、会員への情報提供や教育支援などを行う |
| DX 委員会の活動②:協調領域 | 共通化・統一化、ルール化、仕組みづくりなどを行う |
| DX 委員会の活動③:その他 | SC 業界における DX 推進の機運醸成 |

②月刊誌「SC JAPAN TODAY」11月号特集 DX 委員会座談会開催

「加速するデジタルトランスフォーメーション(仮題)」を特集テーマとする月刊誌11月号企画として、正副委員長による座談会を実施し、DX 委員会の設置意義や今後の方向性等について発信した。

日時: 2020年9月18日(金) 11:00~12:00 ※ZOOM 開催

会場: 協会会議室

特集: 11月号「加速するDX~コロナショックで新たなステージへ~(仮題)」

テーマ: 「DX 委員会の設置、SC が取り組むべきDX の方向性とは」

内容: ①DX 委員会設置の背景・意義
②SC 業界におけるDX の現状と課題
③リアル店舗が取り組むべきDX の方向性
④DX 委員会の今後の活動

登壇者: 高野 稔彦 委員長【進行役】 林 直孝 副委員長 岩越 逸郎 副委員長

③ビジネスフェア 2021 オンライン パネルディスカッション配信

SC ビジネスフェア 2021 オンライン「セミナー」にて、DX委員会によるパネルディスカッションを実施し、DXにおける現状と課題の整理、委員会として今後取り組む重点テーマについて発信した。

- 配 信: オンデマンド配信:2021年2月9日(火)～16日(火)<8日間>
アーカイブ公開 :2021年2月18日(木)～28日(日)<11日間>
- テーマ: 「DX委員会が目指す『SC業界のOMO』と『従業員の接客専念体制の創出』」
- 内 容: 第1部「CX・EXにおける課題と現状の取り組み」
第2部「未来を見据えた、SC業界の新基準を考える」
- 登壇者: 高野 稔彦 委員長【進行役】 林 直孝 副委員長 岩越 逸郎 副委員長
知久 和男 委員

9. SC 経営士会

1. 2020 年度 活動総括

(1) 総括

2020年度は、幹事会を4回、会長・副会長会議を4回開催し、活動内容等について審議を行った。これを受けて、ブロック活動、例会(秋・春)、年次ゼネラルミーティング(2月)を開催、SCビジネスフェア2021では業務・広報グループが中心となって、SC経営士会主催のセミナーを開催した。

また業務・広報グループでは『SC経営士会【THE CIRCLE】』を内容の充実を図り6回配信した。引き続き、人材育成委員会からの依頼を受けて、SC経営士更新講習の企画や冠講座の講師を提案した。

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、各SCにおける様々な対策を今後のパンデミック対策の一助とすべく「新型コロナウイルス感染症対策」としてとりまとめた。

ブロック活動は、北海道から九州・沖縄まで7ブロックがSC経営士相互の交流を促進する行事を実施したほか、協会支部と連携した企画に取り組んだところもある(参照/2020年度SC経営士会活動一覧)。

(2) 事業報告

① 「例会」について

1) 「秋の例会」

・日時:2020年10月30日(火) ・場所: SC協会会議室およびオンライン(Zoom)による開催

・プログラム:【第1部】「アフターコロナにおけるSCと最適な場の提供」

講師:藪本 祐介氏 (株)COUNTERWORKS 取締役CFO

【第2部】 パネルディスカッション

パネラー:三瓶 直樹氏 (株)COUNTERWORKS 代表取締役 CEO

佐藤 裕介氏 (株)へい 代表取締役社長

芝尾 崇孝氏 (株)丸井 新規プロジェクト推進担当 課長

参加者 109名

2) 「春の例会」

・日時:2021年3月26日(金) ・場所: SC協会会議室およびオンライン(Zoom)による開催(予定)

・プログラム

テーマ 「SDGsを实践する先進的な取り組みからサステナブル経営を考える」

【第1部】「イオンのサステナブル経営について」

講師:三宅 香氏 イオン(株) 執行役 環境・社会貢献担当

【第2部】「日本環境設計が考える『みんな参加型』の循環型社会とは」

講師:岩元 美智彦氏 日本環境設計(株) 取締役会長

② 「年次ゼネラルミーティング」について

・日時:2021年2月9日(火)17:00~18:30

・SC協会会議室およびオンライン(Zoom)による開催

・プログラム:SC経営士会会長挨拶、新SC経営士紹介(インタビュー)、副会長・ブロック長紹介、2020年度活動報告、2021年度活動計画、参加者交流会

・参加者:140人

③ SCビジネスフェア2021

・セミナー:「SCの未来を語ろう」 事前に収録したものを配信 視聴回数 1,565回

若きSCリーダーによる未来への提言 ~2021・私たちはどう生きるか~ パネルディスカッション形式

パネラー:中山 亮氏 (株)トリニティーズ 代表取締役社長 (SC経営士)

舟本 恵氏 JR西日本SC開発(株) カンパニー統括本部 開発戦略室 室長
(SC経営士)

澤邊 亮氏 株式会社SHIBUYA109エンタテインメント
オムニチャネル事業部 MDプランニング部長 SHIBUYA109総支配人
(SC経営士)
坂口 絵美氏 大和リース株式会社 流通建築リース事業部 事業推進部
東日本リーシング企画室 室長 (SC経営士)

④ SC経営士登録更新講習について

人材育成委員会からの依頼を受けて、SC経営士登録更新講習を企画し、2020年度SC経営士更新講習を大阪(9/8、受講者37名)、東京(10/14、11/11、83名)にて行った。大阪・東京会場とも、オンライン(Zoom)によるハイブリッドセミナーを行った。

⑤ 冠講座の企画について

冠講座についても人材育成委員会から依頼を受けて、2020年度は東京電機大学大学院で実施した。具体的には、協会事務局と連携して、カリキュラムのそれぞれの単元について、支部管内の企業、SC経営士等の講師案を作成し実施。

⑥ SC経営士会【THE CIRCLE】の配信について

業務・広報グループでは『SC経営士会【THE CIRCLE】』の内容の一層の充実を図り、第13号(5月15日発行)から第18号まで6号を配信した。

⑦ 新型コロナウイルス感染症対策報告書について

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、各SCでは様々な対策を実施してきたが、SC経営士会では、SC経営士及び主要企業の協力のもと、今後のSC業界のパンデミック対策の一助とすべく新型コロナウイルス感染症対策の報告書を以下の内容としてとりまとめた。

<報告書>

With コロナ・After コロナに求められるSCへの提言

～新型コロナウイルス対策の1年を振り返り、その反省と課題を次代に活かす～

- 1) 新型コロナウイルス発生から現在までの状況と、SCへの影響
- 2) SCの新型コロナウイルス対策状況(アンケート集計結果)
時系列 アンケート結果
項目別 アンケート結果
- 3) コラム
館内で陽性者が発生した場合、陽性者への対応や消毒作業などをどのように対応したか?
- 4) 参考資料
- 5) 座談会／新型コロナウイルス対応とアフターコロナにおけるSCのあり方
- 6) SCの未来に向けたヒント・キーワード

2021年02月25日現在

2020年度 SC経営士会 活動スケジュール

■ 実施済み □:予定

| | 2020年度 | | | | | 2021年度 | | | | | | | |
|----------------------|--------|--|----|----------------------------------|----|-----------------------------------|--|--|-----|----|--|--------------------------------|----|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 |
| SC協会行事等 1/21更新 | | ■ 4/23 第1回理事会(2020年度活動計画決定) ■ 5/27 第48回定期総会(2020年度活動計画決定) | | ■ 7/13 第1回理事会 ■ 7/1 第1回正副会長会議 | | ■ 9/18 第3回理事会 ■ 9/18 第3回正副会長会議 | ■ 10/2 第2回理事会 ■ 10/18 第3回理事会 ■ 10/23 理事会(2020年度上期事業報告) | ■ 10/18 第1回企画会議(2020年度上期事業報告) ■ 10/23 理事会(2020年度上期事業報告) | | | ■ 2/9~18 第46回日本SC協会大会オンライン | □ 3/24 第2回企画会議 (2021年度事業計画) | |
| 幹事会 1/21更新 | | | | | | | | | | | ■ 2/19 第4回正副会長会議 ■ 3/12 第4回理事会 | | |
| 例会 1/21更新 | | | | | | | | | | | ■ 2/9 せりふオンライン(2021年度活動計画発表会) □ 2/26 第5回の例会 | | |
| 研修・研究グループ | | | | | | | | | | | | | |
| 業者・広域グループ 更新済み | | | | | | | | | | | | | |
| 北海道ブロック 1/22更新 | | | | | | | | | | | | | |
| 東北ブロック 1/25更新 | | | | | | | | | | | | | |
| 関東・甲信越ブロック 1/25更新 | | | | | | | | | | | | | |
| 中部ブロック 2/1更新 | | | | | | | | | | | | | |
| 近畿ブロック 1/22更新 | | | | | | | | | | | | | |
| 中国・四国ブロック 1/25更新 | | | | | | | | | | | | | |
| 九州・沖縄ブロック 2/1更新 | | | | | | | | | | | | | |
| 各ブロックの行事色分けのキャプション | | | | | | | | | | | | | |